

「令和2年第2回岩手県男女共同参画審議会」提出意見への対応について

資料2

項目			第2回審議会(9/3)での意見	対応方向 (第2回審議会での回答)	答申案への対応
はじめに		事前意見	2 プランの性格 4 項目目 県民一人ひとりが男女共同参画の実現を自らのこととして考え、家庭・地域・社会等・・・ → <u>家庭・学校・地域等とし、子どもの頃からの身近な取り組みとして注目していただきたい。</u> 等に含まれるという解釈ではなく、はっきりと印象づけてほしい。	「家庭・地域・社会等」を 「職場、学校、地域、家庭等」に修正します。 (条例前文に合わせた記載)	「家庭・地域・社会等」を 「職場、学校、地域、家庭等」に修正しました。(P1)
第1章		事前意見	(1)の図表右上の数字が見にくいので、県と全国の数字の色を変える等見やすい工夫をお願いします。	見やすくなるように工夫します。	見えやすくなるよう修正しました(P9)
現状と課題	平成28年プランにおける成果と課題	事前意見	現行プランでは(14)の項目では、平成32年の目標値が記載されている項目もありますが、「横ばいで推移」「着実に増加」「継続して行われている」という表現になっています。 <u>表現の根拠となる数値の記載はしないのでしょうか。</u>	数値がわかるように記載するようにします。	データ等について追加しました。(p15～17)
第3章 各論	I あらゆる分野における女性の参画拡大	事前意見	<u>〈施策の方向〉「固定的性別役割分担意識についての意識改革を行う」追加頂きたい。</u> 前プランでは、計画の基本的な考え方や男女共同参画の視点に立った意識改革と制度慣行の見直しの中に「固定的性別役割分担意識」について記されていますが、本プランにはその言葉が見当たりません。平成28年プランにおける成果と課題(P17、18)や〈現状・課題〉(p25)からも、根強くある固定的性別役割分担意識の変容の必要性を強く感じます。県土が広く固定的性別役割分担意識について格差の大きい岩手において男女共同参画を推進するには、「固定的性別役割分担意識の変容」は重要な課題であると考えます。国の「第5次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方(素案)」にも明記されています。また、男女雇用機会均等法にもセクハラやパワハラ要因の一つとして明記されており、地域での参画のみならず、働くうえでも重要な課題です。	固定的性別役割分担意識の解消については、「V基盤の整備」の意識改革(P53)に記載しておりますが、地域社会での取組は意識改革が重要であることから、記載することとします。	固定的性別役割分担意識の解消等についての記載内容を追加しました(P29)
	II 東日本大震災津波からの復興と防災における男女共同参画の推進	事前意見	2. IIの2「防災」という枠組みですが、今回のコロナのような事態を含め、「リスク管理」という視点と、それに基づく取組を盛り込んでください。 理由:「リスク管理」のマニュアルは、企業等でも作成されるようになっていますが、そこに、男女共同参画の視点や多様性尊重の視点を盛り込むことを推奨し、県がモデル事例を提示する等の検討を進めることは、全国の先進事例ともなり、大きな意義をもつことになるからです。また、「女性活躍」だけでなく、企業における男女共同参画の視点の導入のきっかけとしての効果も期待できると考えるからです。(たとえば、岩手大学では、コロナ禍の前でもあり、男女共同参画の視点に関連する個所はわずかですが、すでにマニュアルが作成されているので、参考になるかもしれません。)	実態等についての情報把握が必要であることから、情報収集に努めます。	企業等でのリスクマネジメントの事例を情報収集・提供することについて記載内容を追加しました。(P33)
		当日意見	今回のように、学校が休校になった時に社員の給料をどう扱うのか等について柔軟に対応しましょうと言えれば、それを根拠にして次に繋がると思うので、県庁でモデル化していただければ良いなと思っています。急に全部取組として書き込むのではなく、まずは情報収集を始めますやモデル化しますでいいと思うので、全国に向けても防災ではなくリスク管理というところに男女共同参画の視点、ダイバーシティの視点が必要だということを、被災地岩手から発信して欲しい。	-	
		事前意見	コロナの感染が抑えられられたのは、震災の際に感染症について避難所で随分と経験があったことや、県庁の中でもそれに対応するシステムがあったということが活かされているのではないかと検証されているところ。 コロナで活かしたようなことを男女共同参画視点からも言っていこうとした場合に、防災という言葉の中にコロナのような問題のリスクが含まれているかどうかを明確にいただき、今回のような事態でも東日本大震災を経験した岩手県ならではの経験を活かしていくんだということを盛り込んでいただきたい。	-	現状・課題にコロナ等の危機的状況に関する記載を追加しました。(p32)
		当日意見	コロナの問題はプランの色々な柱に関わる部分があるだろうと思うので、困難を抱えた女性の部分だけでなく、今一度全ての柱にコロナの影響や課題に触れる部分はないか考慮していただければと思う。	-	地域社会、防災、子育て・介護を支援する環境づくりの項の現状・課題にも追加をしました。(P28,P32,P56)

「令和2年第2回岩手県男女共同参画審議会」提出意見への対応について

資料2

項目		第2回審議会(9/3)での意見	対応方向 (第2回審議会での回答)	答申案への対応
Ⅲ女性の活躍支援	事前意見	<p>&lt;現状・課題&gt;「災害時における女性防火クラブ等の～」について「災害対応における女性の役割が大きいことから、女性の防災に関する政策・方針決定過程への参画や、リーダーとしての活躍を推進する必要があります。」に変更願いたい。  <u>多様な団体や多くの女性たちが関わっているので、前半は不要と考えます。</u></p>	前半部分の削除することし、記載内容について検討していきます。	記載内容を削除し、次の○の記載内容と統合しました。(P32)
	事前意見	<p>(3)「<u>男女共同参画の視点からの防災研修を行うよう自主防災組織に働きかける</u>」  <u>「防災における女性リーダーの育成を推進する」に変更いただきたい。</u>  また、「<u>自主防災組織に占める女性割合</u>」を指標にしていきたい。  女性消防団については県民計画復興推進プランにも明記されていますし、自主防災組織に必要なのは女性の参画のみならず男女共同参画視点からの防災です。自主防災組織が自治会役員と重なっていることが多く、自治会長や役員に占める女性割合が極端に低い現状で、女性が自主防災組織に参画しやすい環境を整えるには、男女共同参画の視点の防災の必要性を理解してもらうことが必須です。(3)は前プランとほぼ同じ文章で、単なるこれまでの踏襲では参画拡大は難しいと考えます。  令和2年5月に男女共同参画局から出た「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」にも、「女性は防災復興の主体的な担い手である」ことや「防災会議委員や自治会長・自治会役員に占める女性割合を高める」ことの必要性が明記されています。  <u>女性が主体的な担い手になり参画拡大ができるような人材育成、女性防災組織が必要と考えます。</u></p>	<p>「男女共同参画の視点からの防災研修」については、「(2)災害からうける影響の男女の違い等に配慮した防災対策の実施」に趣旨を記載しています。  また、「防災における女性リーダーの育成」については、(3)の2つの○で取組を進めることとしています。</p>	<p>・市町村に対し、自治会や自主防災組織における男女共同参画の推進について働きかけることについて記載を追加しました。(P33)</p> <p>・自主防災組織は、自治会と同一組織であることが多いことから、自治会長に占める女性の割合を参考指標とし、進捗状況を把握することとします。(P66)</p>
	事前意見	<p>1 女性の職業生活における活躍の推進  ①&lt;現状・課題&gt;において、女性活躍推進法(女活法)の改正により、令和4年4月から「一般事業主行動計画」の策定等が義務付けられる範囲が拡大(301人以上→101人以上)されることについてもふれていただくとともに、この関連で、&lt;目指す姿を実現するための施策の方向&gt;(5)にも、岩手労働局とともに周知啓発を行う等の記載をしていただくことをご検討ください。  ②岩手県が行っている「いわて女性活躍企業等認定制度」は県内企業が女性の活躍を推進する上で大変有効な施策であると考えます。この施策を今後も引き続き実施されるのであれば、これを積極的に進めることを盛り込んでよいように感じます。</p>	素案に盛り込めるよう記載内容について検討していきます。	現状と課題、施策の方向に追加しました。(P34.35)
	事前意見	<p>1)働き方改革の取り組みの推進  最後の行「ダイバーシティ経営<sup>5</sup>」の説明が抜けていることに気が付きました。  「いわて働き方改革推進運動」をHPで確認しました。期待できる取り組みであると思いました。</p>	記載いたします。	注釈の記載を追加しました(P38)
	事前意見	ダイバーシティ経営について 注5の記載が下段にありませんので記入願います。	記載いたします。	同上
	事前意見	<p>2 仕事と生活を両立できる環境づくり  ①女性の活躍推進と仕事と家庭の両立は両輪であり、その実現のためには、男性の育児参加が重要ですが、男性の育児休業取得率は低調となっています。育児休業取得だけが男性の育児参加ではありませんが、きっかけの一つとして重要と考えます。男性の育児休業取得は、職場だけでなく、親等周りの理解も重要であることから、例えば、&lt;皆さんに期待すること&gt;に<u>男性の育児休業等の取得をはじめとする育児等への参加について盛り込む等、もう少し踏み込んだ記載をしてもよいように感じます。</u></p>	素案に盛り込めるよう記載内容について検討していきます。	皆さんに期待すること、男性の育児休業取得促進に関する記載を追加しました。(P39)
	当日意見	<p>就業環境の整備について、岩手県は中小企業がほとんどで環境整備までまだ至っていない。年代層によっては育児休業を取りたいとか、時短にしたいという希望を出す、了解を貰うのにもすごく大変だという状況があると思う。整備だけではなく、意識改革をもたらすような啓発などを県で色々な企業に働きかけるような部分があって欲しい。</p>	-	働き方の見直しや多様な働き方について、各種啓発活動を通じて理解を促すとともに、国と連携しながら、制度を活用しやすい環境の整備について、企業や関係団体へ継続して働きかけます。(P38)
	当日意見	<p>男性の育児休業の取得について、行政の取組はどうなっているのか。県が見本を見せるような取組はできないのかなと思う。</p>	-	男性の育児休業取得率を参考指標とし進捗状況を把握しながら取得促進を図ります。(P66)



「令和2年第2回岩手県男女共同参画審議会」提出意見への対応について

資料2

項目		第2回審議会(9/3)での意見	対応方向 (第2回審議会での回答)	答申案への対応
IV 多様な困難を抱えた女性への支援と女性の健康支援	事前意見	3 男女均等な雇用機会・待遇の確保など雇用環境の整備 ①「＜目指す姿を実現するための施策の方向＞」の(1)の○の2つ目と3つ目は、(4)に同様の記載があることから、削除してもよいと思います。 ②ポジティブ・アクションの取組には、女性の採用拡大・管理職登用とともに、配置拡大も含まれることから、「皆さんに期待すること」の「企業」の3ポツ目について、「女性の採用・配置・登用～」としていただくことをご検討ください。	①削除いたします。 ②御意見のとおり修正いたします。	①削除しました ②「配置」を追加して修正しました(P41)
	事前意見	「＜目指す姿を実現するための施策の方向＞」同じ文章が繰り返されていますが、(と(4)はまとめるわけにはいかないでしょうか。 (1)2項目目と(4)1項目目の文章、(1)3項目目と(4)2項目目の文章が同じです。	(1)の○の2つ目と3つ目について削除いたします。 (上記①と同様)	削除しました(P41)
	事前意見	多様な困難を抱えた女性への支援と女性の健康支援 多様な困難に直面する女性支援政策パッケージ(多様な困難に直面する女性に対する支援等に関する関係府省連絡会議)と整合性を図った内容と思われる。 パッケージの政策の方向性として相談体制の整備、支援者の育成・確保、支援体制の見える化と利便性の向上について示されています。 支援者の育成・確保について、パッケージの現状分析は行政の窓口相談において、「女性の権利や心情に十分に配慮した対応ができていない、支援者が女性の抱える困難の背景にある社会的・構造的問題を理解していない事がある」(パッケージP2 課題と記載されていますが、県の新しいプランの援助や支援についての記載(P43 P44は現行プランと本文のままになっています。 相談事業をやっていないCAP 岩手に相談電話がかかってくることもあり、相談窓口や支援機関を紹介しているのですが、すでに相談した方がほとんどです。その場合、個人的にお気持ちを聴くことぐらいしかできないのですが、相談者はいつも少し落ち着いたと言って電話をきります。すでに相談したという相談窓口の対応が気になっていました。 また、パッケージではDVと児童虐待に関わる支援機関の連携が進められている現状に触れ、切れ目のない支援として「児童生徒の相談等に的確に対応できるよう、養護教諭等と連携しながら・・・」(パッケージP5)また、DV被害者の一時的保護の際の同伴子どもへの支援(パッケージP6～などの記載がありますが、県の新しいプランにはみあたりません。女性のケアと子どものケアはセットで考えていただきたいと思います。	御意見の内容を関係部局と共有し、内容の充実に検討します。	相談員への研修の充実について追加しました。(P46)
	事前意見	上から2行目「はまなすサポート」 総合的支援という記述より、ワンストップ支援センターとしたほうが今後わかりやすくなるのではないのでしょうか。 ワンストップ支援センターについては、パッケージP5に記載があるように、処遇改善、運営の安定化、質の向上の促進を望みます。	記載内容について関係課と検討していきます。	DVと児童虐待に関わる支援の連携について追加しました。(P46)
	事前意見	その他 Vの1で国際会議の事例として、「世界女性会議」が取り上げられていますが、実際にどのような施策を想定されているのか、実態に合わせた記載にさせていただくことをお願いいたします。世界女性会議は1995年以降開催されておらず、注を含め、実態にそぐわないのではないかと感じられます。	記載内容について検討していきます。	ワンストップ支援センターという文言に修正しました。(P46)
V 男女共同参画の実現に向けた基盤の整備	事前意見	(2)学校教育の充実 →最初の項目が加えられ、他の項目は現行のままです。現行の取り組みの実態・成果はどの程度でしょうか。教育委員会との連携は図られていますでしょうか。	現状と課題の記載内容について、教育委員会と検討していきます。	女性に関連する国際会議という文言に修正しました。(P53)
	事前意見	(2) ○「学校における～男女混合名簿の使用拡大を促進します」について 調整委員からの勧告を受けて、関係機関への働きかけや使用状況についての報告等をして下さった教育委員会関係者に感謝します。 令和元年度混合名簿を使用している校種別利用率は、小学校70、2% 中学校50、3% 高等学校98、7% 特別支援学校100%となっており、どこをどのように促進するのか、単に校種別利用率を100%にするということなのか、混合名簿の種類の比率を増やしていくのかわかりません。もう少し具体的な方向性を示してください。	「いわて県民計画」では、具体的推進方策指標として、小・中・高の使用率を2022年までに100%になるよう取り組むこととしています。 記載内容について教育委員会と検討していきます。	現状と課題に学校教育に関する記載を追加しました。(P52)
	事前意見			小・中・高の使用率を主要指標に盛り込み、2022年までに100%になるように取り組みます。(P65)

「令和2年第2回岩手県男女共同参画審議会」提出意見への対応について

資料2

項目			第2回審議会(9/3)での意見	対応方向 (第2回審議会での回答)	答申案への対応
		事前意見	<p>(4)「～推進する人材の養成を行うとともにその活動を支援します」について養成と支援だけではなく、具体的な施策の方向性が必要と考えます。また、サポーター養成講座受講数を指標にするのではなく、<u>その後の活動についての指標を作っていただきたい。</u></p> <p>平成28年プランにおける成果と課題(p17.18)では、「サポーター認定者数は着実に伸びています」と書かれていますが、審議委員の割合や意識調査、課題などからは、その伸びが男女共同参画推進にはつながっていないように思います。<u>どんな人材を育てたいかやどんなプログラムが必要なのかの視点も必要</u>と考えます。また、推進したいと思っても、周りの性別役割分担意識等により力を発揮できない女性たちもいるのではないかと考えます。<u>講座を修了しただけでなく次のステップにいける仕組みも重要</u>と考えます。</p> <p>p59(3)男女共同参画サポーター も同様</p>	<p>「いわて男女共同参画サポーター」は、地域での男女共同参画の推進のため、県又は市町村の施策・事業等の企画・運営への協力や各地域で自主的な活動を実践する者を認定しているものです。</p> <p>認定後は、主に市町村事業への協力のほか、各自が取り組んでいる活動分野での男女共同参画を推進するリーダーとしての活躍が期待されます。</p>	<p>男女共同参画の視点を持ち各地域で活躍するリーダーが重要であることから人材養成を行うことについて記載を追加しました。(P53)</p> <p>なお、サポーターの養成については、現在、次のような取組を行っていることから、引き続き、男性をはじめとする多様な人材が受講しやすい受講環境の整備や、サポーター認定者の活動支援となるような講座を開催できるよう工夫をしていきます。</p> <p>・ サポーター認定者を対象に、学習機会を再提供し、学び直しと受講者間の連携やネットワークを構築を図ることを目的として、スキルアップ講座(サポーター養成講座の再受講)を実施している。</p> <p>・ R2年度は動画配信による開催とし、広く周知を図ったことにより、企業関係者や男性、若者等、これまでにない層の受講者が増加している。</p>
		当日意見	サポーターの方々に対して、養成講座でなくてもいいがフォローアップの機会を考えてはどうか。他府県では、すでにリーダー養成講座と銘打って実施されている。女性の人材育成について、次のステップとして考えていくのはいかがか。	-	
		当日意見	勉強したいと思ってもサポーターの会に入会して活躍しなければいけないと思うとハードルが高い。講座を広く、気軽に聞いてもらいたい。男性が参加しやすくなるように、男性が参加しやすい時間帯を設定するか、積極的に企業にも参加するよう呼びかけをするなど工夫が出来ないか。	-	
		事前意見	<p>3. Vの2の「意識改革と制度・慣行の見直し」で、偏見や固定的な社会通念、慣習、しきたりへの言及がありますが、「アンコンシャス・バイアス」への取組を盛り込んでください。</p> <p>理由: 自覚や自制では簡単に解消できない、無意識のうちに生じるバイアスが、男女共同参画実現を阻むことを指摘する点に、「アンコンシャス・バイアス」という言葉の意味があります。私たちは、ちゃんと判断しているつもりでも、無意識のうちに、相手の能力を正しく評価できていなかったり、自身の進路や職業選択の可能性を狭めてしまっているのです。岩手大学で経験を踏まえ、この取組の有効性、先進性を実感していることが提案の理由です。</p>	<p>記載内容について検討していきます。</p> <p>なお、「アンコンシャス・バイアス」への取組について、何か有効なものがあれば御助言願います。</p>	アンコンシャス・バイアスへの取組を追加しました。(P29,P54)
第4章 計画の推進	2 プランの進捗状況管理	事前意見	<p>もつとも気になるのは、「第4章 計画の推進」の記述が薄いことです。</p> <p>1. 政策等が実効性をあげるには、PDCAサイクルを確実に回していくことが重要であり、その仕組み(進捗状況管理)についても計画にきちんと書き込む必要があると考えます。</p> <p>審議会では、他の委員とも意見交換をしたいと思いますので、7月に公表された「第5次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方(素案)」の89-92ページを手元資料として配布いただけると有難いです。</p> <p>県の案(p.60)では、指標調査、年次報告公表、審議会での評価・検証等がすでに記載されていますが、以下についても具体的に、言及していただくことをお願いいたします。</p> <p>① 進捗状況をより具体的に把握できるよう、県が整備する各種データにおいて、性別(男性・女性・言いたくない、それ例外等)によるクロス集計での公表を原則とすることを盛り込んでください。(上記素案 2(2)③参照)</p> <p>理由: すでに、Ⅱの1(3)で、復興については取り組まれています。たとえば、現在のコロナ禍において、さまざまな場面で性別による影響の違いがあることが想定され、対応施策立案にはその根拠となるデータが必要となります。しかし、その際にどのようなデータが必要になるかは予め想定できるものではなかったと思います。それゆえ、平常時から、性別によるデータ把握を原則とすること、そしてそれを県民も活用できることが重要だと考えるからです。</p> <p>② 審議会の役割に、計画推進への提言等に加え、その役割を果たすための機会を確保することをお願いいたします。具体的には、年間の開催回数等の拡充と、委員への研修機会等の提供を行うことを盛り込んでください。</p> <p>理由: 岩手県の推進体制では、進捗状況管理における審議会の役割は大きく、にも関わらず、これまでの開催状況ではそれを果たすには不十分だったと考えるからです。</p> <p>③ とくに進捗の滞る課題への施策の強化に向け、1に掲げた関係者への進捗状況報告と、それを踏まえた情報・意見交換等を行い、男女共同参画政策への関心を喚起することを盛り込んでください。</p> <p>理由: これについては、すでに取組もあるかと思いますが、計画の推進の一環として、書き込むことで、評価・検証の取組が強化されることを期待するからです。</p>	<p>審議会において男女別のデータを提供できるように取り組むことや、効果的な開催ができるよう工夫していきます。</p>	<p>審議会における進捗状況管理の充実とPDCAサイクルによる施策の推進について記載内容を追加しました。(P61)</p>

「令和2年第2回岩手県男女共同参画審議会」提出意見への対応について

資料2

項目			第2回審議会(9/3)での意見	対応方向 (第2回審議会での回答)	答申案への対応
	1 それぞれの役割と連携	当日意見	それぞれの役割と連携に学校が入っていない。認識が変わってきた要因の一番は学校教育だと思う。家庭科の男女共修とか、データにあるとおり学校では男女の格差をあまり感じていない。ところが社会に出ると格差がある。これからも意識を変えていくのに、学校というのは重要だと感じている。推進の(7)でもいいので、学校という項目をつけて欲しい。 また、「皆さんに期待すること」の各項目の中で、「学校」が1つしか入っていない。色々なところを学校に期待していいのではないかと思う。計画を推進することが一番大切だと思うので、そのためには具体的にこういう取組を進めるところにもっとウエイトを置いて欲しいと思う。	-	学校に関して、「それぞれの役割と連携」、「皆さんに期待すること」に記載内容を追加しました。(P60、46)
		当日意見	経営者側の方々や団体等のことが並んでいるが、労働者の代表とか、そういうところとの連携も、何等かの形で表現されると関わっていけると思ったので検討して欲しい。	-	労働組合との連携について記載を追加しました。(P60)